

施策評価シート（令和5年度 実績）

重点的方針	子どもの笑顔がかがやく、子育てと教育のまちづくり
概要	<p>未来を担う子どもたちが、町の豊かな自然の中で健やかに成長し生きる力を身につけられるよう、妊娠から出産、子育て、教育と切れ目なく支援するとともに、二宮らしい教育環境を整備します。</p> <p>子育て支援においては、全国的に子育てに困難を抱える世帯の増加が顕在化する中、従来のきめ細かい相談対応をさらに強化しつつ、福祉や教育、外部関係機関を交えた子育て支援ネットワークを活用し、様々な課題を解決するために、ソフト、ハード両面から支援していきます。</p> <p>教育環境においては、小中学校と地域が一体となって、義務教育9年間を見通した教育を進めるとともに、誰もが互いに認め合う、「共に学び共に育つ教育」を推進します。</p> <p>また、多様な子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、学びや育ちの環境を整えます。</p> <p>加えて、二宮の歴史・文化に触れ、継承していくことで、ふるさとへの愛着と誇りを育むとともに、生涯学習センター・ラディアンや図書館など充実した社会教育施設を時代に合わせてリニューアルし、学びや発表といった活動機会を確保します。</p>

No.	関連する主な予算等事業	トータルコスト（千円）				庁内評価（2次評価）			
		R5	R6	R7	R8	R5	R6	R7	R8
1	子育て支援対策事業	9,640				良好・維持			
2	子育て世代包括支援事業	25,929				良好・維持			
3	ICT教育推進事業	63,792				良好・維持			
4	小中一貫教育推進事業	4,118				良好・拡大			
5	コミュニティ・スクール運営促進事業	3,387				適当・維持			
6	地域学校協働活動推進事業	4,713				適当・維持			
-	その他	1,750,965							
合計		1,862,544	0	0	0				

※達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

関係する主な重要業績評価指標（KPI）							
指標名		基準値	R5	R6	R7	R8	達成状況
ファミサポまかせて会員数【戦略】（人）	計画	73	75	80	85	90	A
	実績		89				
母子手帳発行数（冊）	計画	96	130	115	115	115	B
	実績		98				
乳幼児全戸訪問事業のサポート率【戦略】（%）	計画	100	100	100	100	100	A
	実績		100				
養育支援事業のサポート率【戦略】（%）	計画	100	100	100	100	100	A
	実績		100				
週3回以上授業でICTを使用したか（全国学状調査）（%）	計画	小63.1 中85.1	小63.1 中85.1	小79 中96	小80 中97	小81 中98	A
	実績		小78.4 中95.0				
小中一貫教育の認知度【戦略】（%）	計画	37.6	40.0	42.5	45.0	47.5	A
	実績		42.0				
コミュニティ・スクールの認知度【戦略】（%）	計画	21.4	23.0	25.0	27.0	29.0	B
	実績		22.9				
各校の学校運営協議会の開催回数（回）	計画	3.8	4.0	4.0	4.0	4.0	A
	実績		4.0				
放課後子ども教室の登録率【戦略】（%）	計画	26.9	27.0	27.5	28.0	28.5	A
	実績		41.9				

前年度	成果	-
	課題等	-
今年度	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・こども基本法の施行、こども大綱の発出があり、「こども計画」の策定が市町村の努力義務となり、令和5年度から2か年かけて策定を進めた。 ・事業や訪問が再開され、参加者や相談件数も増加した。 ・分離型小中一貫教育校「にのみや学園」がスタートし、9年間を見通したカリキュラム研究、小中学生の交流、小学生同士の交流など、誰一人取り残されない学級づくりを推進した。
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・育児の孤立化の解消のため、きめ細やかな支援が必要である。 ・コミュニティ・スクールとは、学校と地域・保護者等が力を合わせ、互いに信頼し合い、子供たちの成長を支え、地域とともにある学校づくり、地域コミュニティづくりを進められることが期待できるものだが、きめ細かな情報発信がされているとは言い難い。

※評価 「A：十分な成果があった」「B：一定の成果があった」「C：あまり成果がなかった」「D：成果が得られなかった」

内部評価（評価・理由等）	
B：一定の成果があった	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援のニーズは多様化しており、更なる充実と人材確保（保育士、ファミサポまかせて会員、相談員）が必要である。 ・小学校と中学校のつながりを大切にして9年間の学びや育ちを支えるため、小中一貫教育を推進した。さらに、放課後子ども教室は、工作や外遊び、体験活動等、様々な活動を実施できる場の提供を行い、多くの児童が参加した。